ACE (企業アクセシビリティコンソーシアム)および IBM Access Blue Program のご紹介



2016年6月16日 日本アイ・ビー・エム株式会社 人事.ダイバーシティ企画 梅田 恵



企業アクセシビリティ・コンソーシアム(ACE)とは

- 2013年9月、「障がい者雇用の新しいモデル確立」を目指し、志をひとつにする有志 企業20数社が集まって設立。活動は第3期目に入り、次のステージへ
- 人事担当者や障がい者社員向けのセミナー、ワークショップの開催、教育冊子の 発行などを通じ、当事者への啓蒙活動、ロールモデル輩出、社会への提言を実施





障がい者就労における企業の課題



- 障がい者就労に関する企業現場では、経営施策、人事制度、職場環境、支援体制・技術、当事者の教育・マインドセットが複雑に絡み合う、多くの課題があります。
- また、採用・定着・昇進というフェーズで見たとき、異なる課題に直面します

採用

- ✓ 就労イメージ・職業観の欠如・自信のなさ
- ✓ 専門性や就労経験(アル バイト、インターンシップ) の欠如
- ✓ 適切なマッチングのための 情報・アプローチ・手段の 不足

企業

本人

- ✓ 障害者採用基準 制定の難しさ(能力、 障害種別、職種など)
- ✓ 受入側の支援体制不足(支援機器、専門知識、人員、制度など)
- ✓ 適切なマッチングのための 専門知識・アプローチ・ 手段の不足

定着

- ✓ 限定的な職域・職責の 選択肢
- ✓ 体力・能力に対する適切な 業務量アサインの難しさ
- ✓ 要配慮事項を周囲に適切 に伝達するコミュニケーション環境の欠如
- ✓ 適切な疲労・業務量管理を 行うための専門知識・仕組 みの不足
- ✓ 要配慮事項に対する知識 と理解の欠如
- ✓ 業務機会提供が限定されている

昇進

- ✓ 一見公平に見える、健常者 と同じ基準による選抜
- ✓ ロールモデルの不在
- ✓ より難しく、責任の重い職位 を目指すモチベーションの 欠如

- ✓ 健常者と同じ業務責任は 無理だという思い込み
- ✓ 障害に起因する制約にも 対応するキャリアモデル・ 昇進基準の不在
- ✓ ロールモデル醸成の考え 方・仕組みの未成熟

課題に対する取組み: 広報・政策渉外



■ 障がい者への高等教育進学の 働きかけ

- 専門的な教育プログラム の機会の提供
- 本人、保護者への啓蒙
- 経済的支援の検討

プロを育む企業と社会

- 支援者との連携
 - 手話通訳、PC要約筆記 サービスの向上
 - 学校関係者
 - 保護者
 - 就労支援機関のスタッフの育成

障がい者の 自立支援

ACEの成長

- 障害別の自立支援のためのツール、IT活用の検討と提案
 - 視覚障害・・・ナビゲーション、読み上げアプリ
 - 聴覚障害・・・リアルタイム・コミュニケーション
 - 車椅子・・・・移動の時間短縮、簡易化 など
- 障がい者自身によるネットワーク活動支援の検討



IBM Access Blue Program

日本IBM 若手障がい者向け就業プログラム



20代-30代の障がい者向けインターンシップ・プログラム 学業・就職活動と両立させながらITスキル、英語力、グローバルリーダーシップを身につける日本では珍しい長期プログラム

【学生の皆さんのこんな声にこたえます】

企業で働くイメージがわかない 自分の障がい種別や特性に応じた仕事にどういうものがあるのかを知りたい 在宅勤務や新しい技術を活用した就労体験をしてみたい

(Basic Business Skill)

コミュニケーション・コラボレーションスキルの習得

ビジネス文書、プレゼンテーション能力の習得

交渉術、面談力の向上

IT最新動向に関する基礎知識の習得



[Advanced IT Knowledge]



Javaの基礎知識とプログラミングスキルの習得

クラウドベースのアプリ構築、業務実行

人工知能(AI)の基礎知識

最新のIBMの技術とアクセシビリティ技術

【問い合わせ先】

日本アイ・ビー・エム株式会社 人事ダイバーシティ 〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

E-Mail: ACCESS@jp.ibm.com













IBM Access Blue 2015 参加者プロフィール



<u>障がい種別</u>

視覚	聴覚	上下肢	内部	精神	発達	TOTAL
2	7	9	1	9	4	32

<u>専攻</u>

理系 (STEM)	それ以外	
9	23	

<u>所属</u>

学部生	院生	卒業生
22	3	7

<u>性別</u>

男性	女性	
20	12	



IBM Access Blue 2015 カリキュラム概要



日本IBMでは、本プログラムを通じて、参加いただく学生の皆さんに「グローバル人材として活躍するための基礎となるビジネススキル」と「先進的なITを活用した就業体験」を提供

2015年 3/16 3/23 5/25 7/1 9/11 試験期間 -- 夏休み 1 week 9 weeks 14 weeks 1 week 現場業務 OJT JAVA研修、最新IT技術· (LOBからのアサインメ アクセシビリティ技術を オリエンテー 活用した業務体験 ント) ションと 最終 (Technology Adaptation) 基礎研修 ミニ開発プロジェクトなどのグループ・ワークと 報告と (Business Core, エグゼクティブへの最終報告に向けた準備 仕事の適性判断・面談 評価 **Technology** クラウド・プラットフォーム上のタスク業務 Core) 英語トレーニング (Pearson One) 障がい社員はじめ、様々な社員との交流 / 業界トピックなどに関する単発レクチャー





Basic Business Skill

Advanced IT knowledge



学業・就活との両立: 在宅勤務の体験













- ■基本カリキュラム(週2回)
 - -オフィスにてビジネススキル研修、アプリケーション開発タスクなどを実施
- ■発展カリキュラム(週1回、希望者のみ参加)
 - オフィスにてプログラミングなどの講義/実習
- ■なんでも相談(週1回)
 - オフィスで相談対応の時間を設定 (電話、チャットも可)
 - 講義の内容だけでなく、社内生活などなんでも相談OK
- ■自由出社(または在宅勤務)
 - 在宅にてタスクの実施、電話会議への参加、勤務または指定オフィスに出社







参加者

- ITを活用した就業体験
- ビジネスマナー、コミュニケーション・ スキルの習得
- 実証実験への参加
- ロールモデルとの出会い、交流
- 在宅勤務の体験
- OJT経験
- 適性の確認
- 自分とは異なる障害、年代、さまざまな経験を持つ仲間との交流
- 障害に関する知識、情報の交換
- Learning by doing
- Learning by mistakes

IBM

- 採用機会の拡大
- 障がい者のIT利用拡大
- アクセシビリティ研究の充実
- さまざまな障害事例の収集
- 社員の障がい者と働く機会拡大
- PwD社員の成長機会
- 障がい者による障がい者支援
- 次世代障がい者のニーズ把握
- 社員ボランティアの参加促進
- 大学関係者との関係強化
- Learning by doing



ご清聴ありがとうございます Thank you for your time



会員企業



- 株式会社IHI
- アサヒビール株式会社
- アステラス製薬株式会社
- オムロン株式会社
- キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- KDDI株式会社
- 清水建設株式会社
- 積水ハウス株式会社
- セコム株式会社
- 株式会社損害保険ジャパン・日本興亜損害保険株式会社
- 中外製薬株式会社
- TOTO株式会社
- 株式会社ニチレイフーズ

- 日産自動車株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 日本GE株式会社
- 日本通運株式会社
- 株式会社博報堂DYホールディングス
- 株式会社パレスホテル
- 富士ゼロックス株式会社
- 株式会社堀場製作所
- 株式会社三井住友銀行
- 株式会社三菱ケミカルホールディングス
- 三菱UFJニコス株式会社
- 明治安田牛命相互会社
- ヤマトホールディングス株式会社
- 株式会社LIXIL
- 株式会社リクルートホールディングス



■ ACEでは、障がい者雇用に関する企業現場の課題に加え、社会における構造的な 課題にも取り組むために、3つの事業部会が連携して活動しています

